放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月31日　　事業所名：多機能型事業所 うさぎのもり

区分		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		高学年の児童中心だが、座ったり、踊ったりする余裕がある。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		児童発達支援と放デイスタッフをそれぞれ余裕を持って配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		施設内はフラットである。玄関の段差には、組立式の車いす用スロープを所有。（普段は、収納している。）	部屋内のレイアウトを変えて、視覚的な工夫や、音に関しては部屋を分かれて過ごすなどで対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		職員会議や社内研修、職員面談等で意見交換している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		意見は、業務改善のためのヒントと捉え、前向きに受け止めて、今後も対応する。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所の玄関・HP上にて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価を受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修、外部講師を招いての社内研修、伝達研修を実施。	職員や子どものメンタルヘルスケアの研修など、新たな研修も始めた。今後もより高めたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		バインランド適応行動尺度など、必要に応じたツールの活用や、聞き込みを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		バインランド適応行動尺度・SDQ・新版K式 など	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		表記上は、同様の名称が多いが、内容・目的はその時々で変えている。	公共機関の練習なども入れてるが、年齢や目標の違いで活動時に課題を感じる時がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		休業日は、生活力の向上を目的に趣味を探す活動や買い物、公共機関等の練習など。	左記の内容を、コロナ対策を踏まえた上でどのような事ができるか考え、社内などでの支援方法を検討する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		事前に活動計画書を作成し、流れと役割、目的等を把握した上で行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		各ガイドラインをファイルに綴じて、職員が確認できるようにしている。	

区分		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		年に数回、学校との面談を実施している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて、情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当ないが、今後必要とされれば、対応する予定。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修・実習を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	コロナ禍であったため、取りやめている。	コロナの扱いが変わることに伴い、検討を行う。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		こども部会に、参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時の伝達や面談、連絡帳などでやり取りを行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	○		面談、お茶会の時などに情報提供等を行っている。	ペアトレは未実施。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学の際と、契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要な資料を提示したり、研修会の案内を渡したりしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	お茶話会で保護者様同士交流していたが、4年度は未開催。	R5年度は、年間計画を立て、実施するよう準備している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、活動予定表を配布。必要に応じて、施設内便りを配布。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	本事業所主催の行事は、ない。	

区分		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月、火災・地震などを想定した避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		委員会の活動として、研修を行い、必要に応じて、同意書を取得している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		必要に応じて、取得している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		報告書を回覧後、ファイルにて保管。	